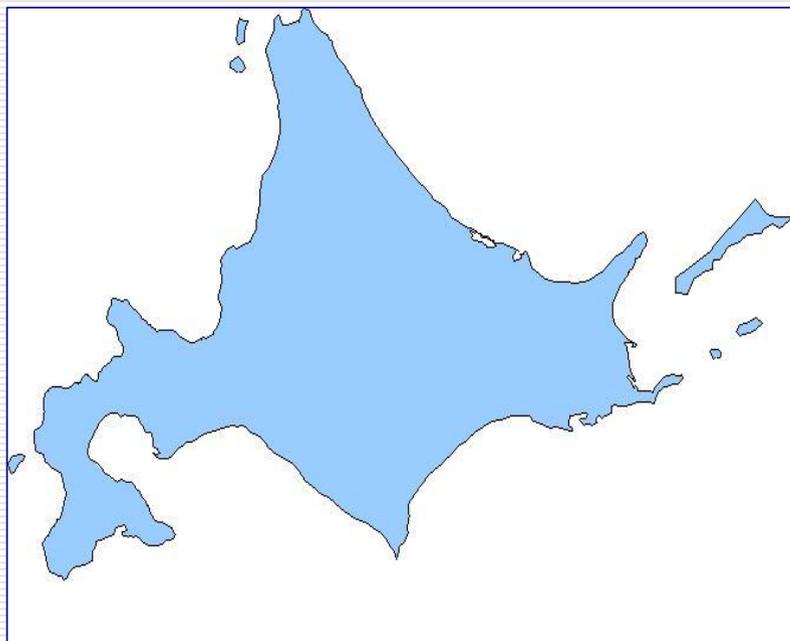


交通政策審議会 第4回航空分科会 資料



平成18年12月15日

北海道

目次



1. 北海道における空港・路線の状況		3. 空港の利用及び活用の促進に向けた取組みについて	
(1) 道内空港の概要	P1	(1) 新千歳空港国際化推進協議会等による国際線誘致活動	P13
(2) 航空路線網図（道外・国際路線）	P2	(2) 北海道海外旅行促進事業実行委員会による取組み	P14
(3) 航空路線網図（道内路線）	P3	(3) 新千歳空港以外の主な地方空港の国際線路線誘致状況	P15
2. 空港の地域における役割		(4) 北海道地域航空推進協議会における利用促進の取組み	P16
(1) 観光客の出入口としての空港		4. 航空及び空港に関する要望	
①来道観光客数	P4	(1) 課題	
②航空機利用者の来道目的	P5	①新千歳空港国際線旅客ターミナルの混雑状況	P17
③来道者数の推移	P6	②国際線旅客の出入国時の状況	P18
④訪日外国人来道者数の推移	P7	③新千歳空港国際線旅客ターミナルの整備について	P19
⑤道内空港の国際定期路線の状況	P8-9	④空港施設の老朽化について	P20
⑥新千歳空港 国際線実績	P10	⑤一部外国エアラインの新千歳空港定期便乗り入れ状況	P21
⑦道内空港 国際線利用者数の推移	P11	⑥道内空港の冬季就航率	P22
(2) 道内における交通手段としての空港	P12	⑦株式会社北海道エアシステム運航乗務員の確保について	P23
		(2) 要望	P24

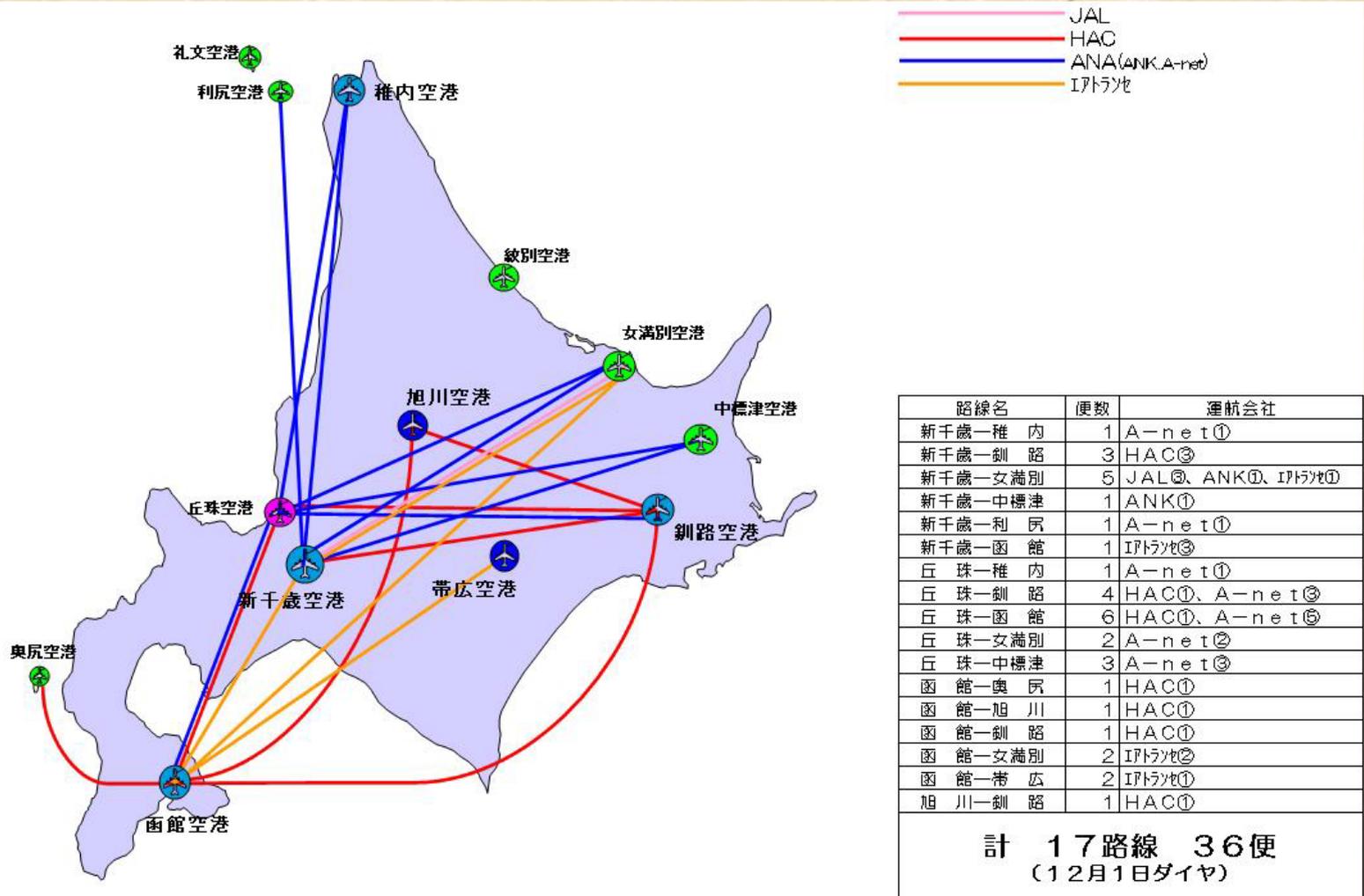
1. 北海道における空港・路線の状況

(1) 道内空港の概要

種別	空港名	空港管理者	所在地
第二種空港	A	新千歳	国土交通省 千歳市 苫小牧市
		稚内	国土交通省 稚内市
		釧路	国土交通省 釧路市
		函館	国土交通省 函館市
	B	旭川	旭川市 旭川市 東神楽町
		帯広	帯広市 帯広市
第三種空港	女満別	北海道 大空町	
	中標津	北海道 中標津町	
	オホーツク紋別	北海道 紋別市	
	利尻	北海道 利尻富士町	
	礼文	北海道 礼文町	
	奥尻	北海道 奥尻町	
その他飛行場	札幌(丘珠)	防衛庁(陸上自衛隊)	札幌市



(3) 航空路線網図(道内路線) (平成18年12月現在)

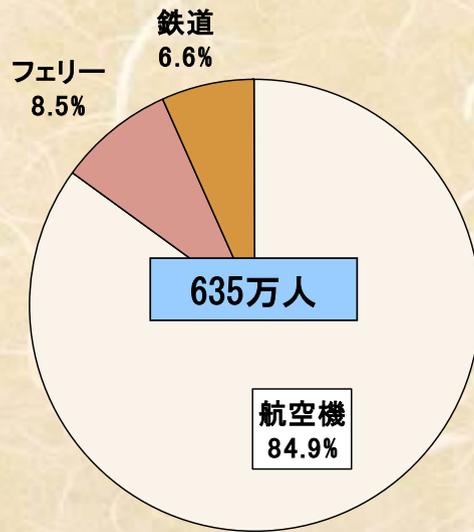


2. 空港の地域における役割 (1) 観光客の出入口としての空港 ① 来道観光客数(平成17年度)

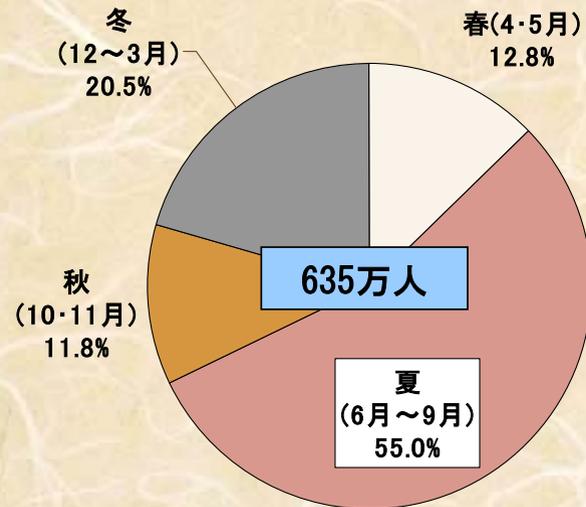
来道観光客635万人のうち、539万人(約85%)が航空機を利用

来道観光客は、夏季(6月～9月)が最も多い(55%)

交通機関別



季節別

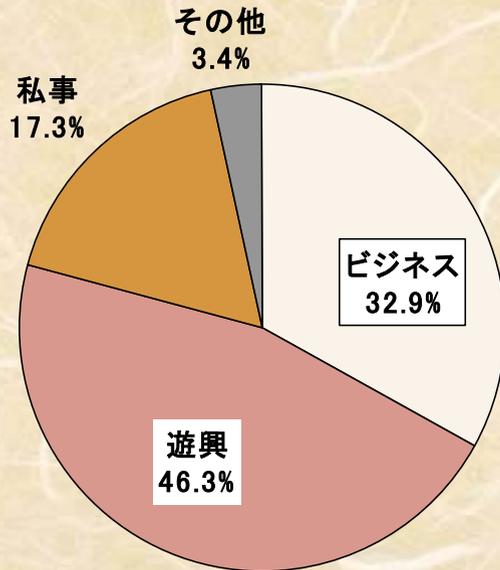


②航空機利用者の来道目的

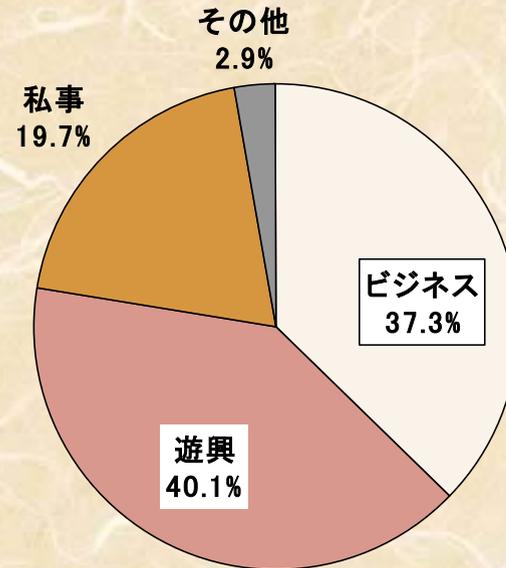
新千歳空港の利用者の約半数は、観光客

新千歳＝羽田線は、4割が観光客

全路線



新千歳＝羽田線

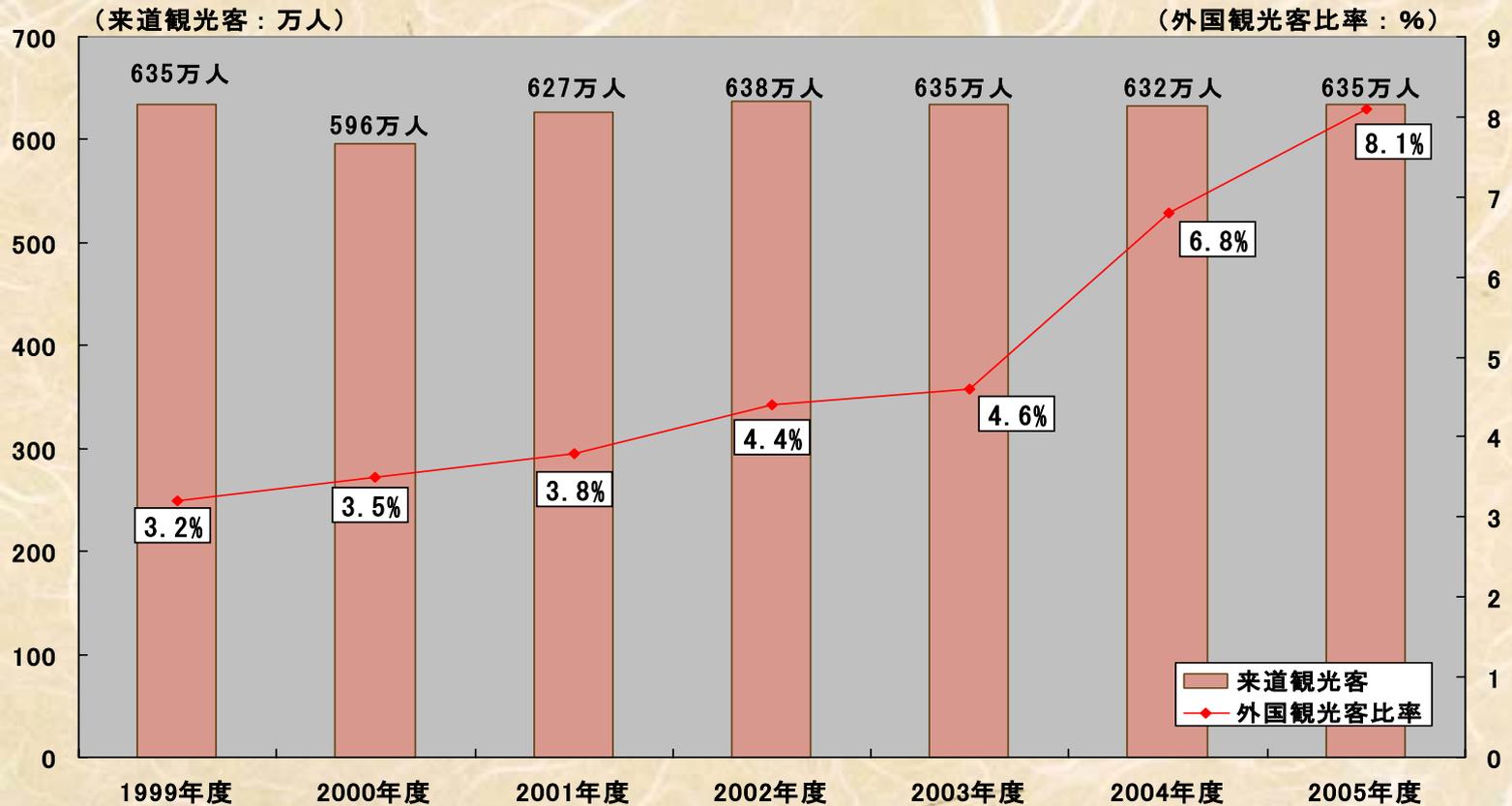


新千歳空港旅客ターミナルビル航空旅客動態調査(北海道空港㈱調べ)

調査方法：調査日(出発客H17.8.3(水)、到着客H17.8.4(木))に新千歳空港を発着する国内線利用の旅客全員に対し多項目の選択方式調査票を配布し、後日郵送で回収

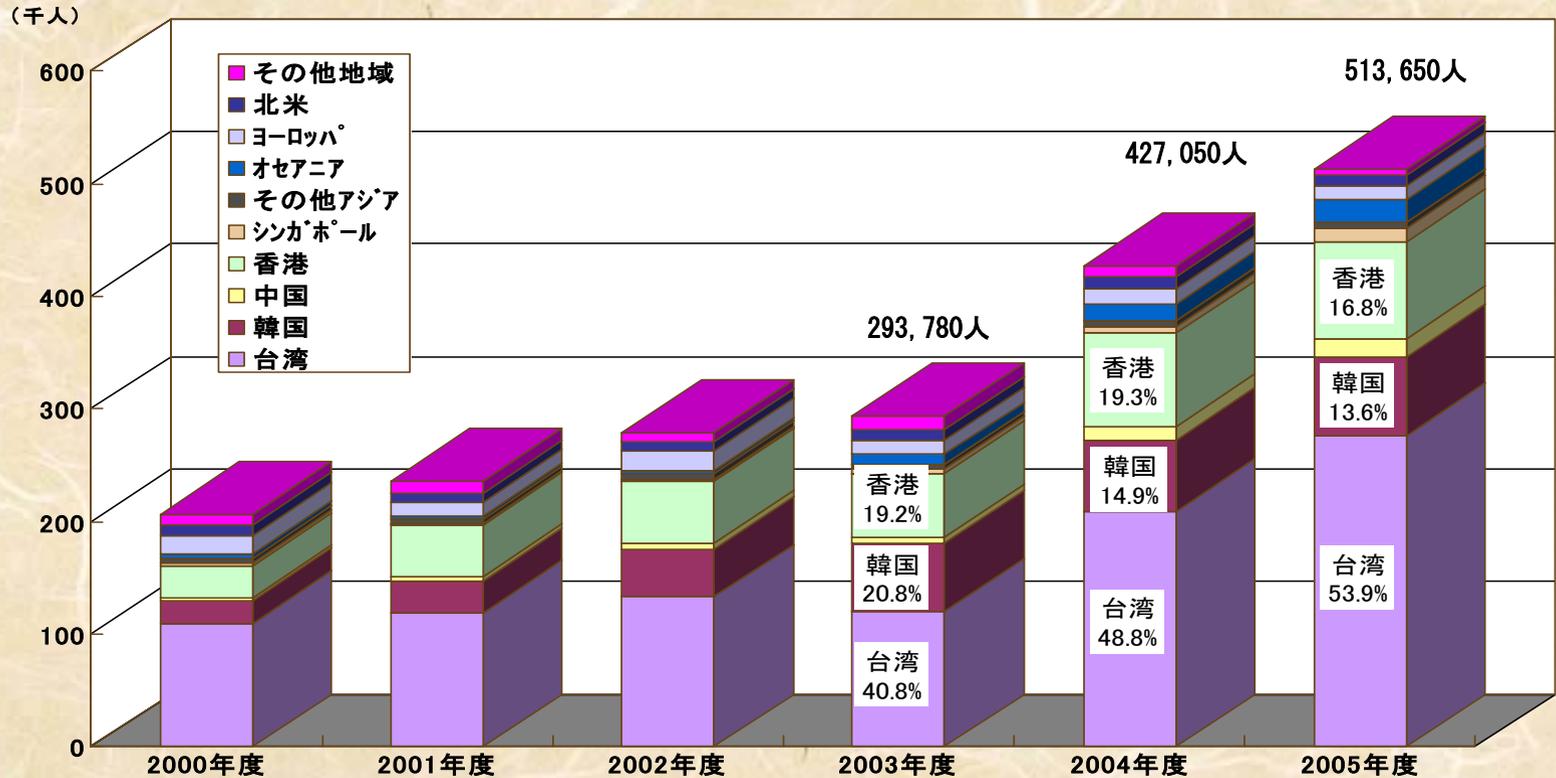
③来道者数の推移

来道者数に占める外国人比率は増加傾向



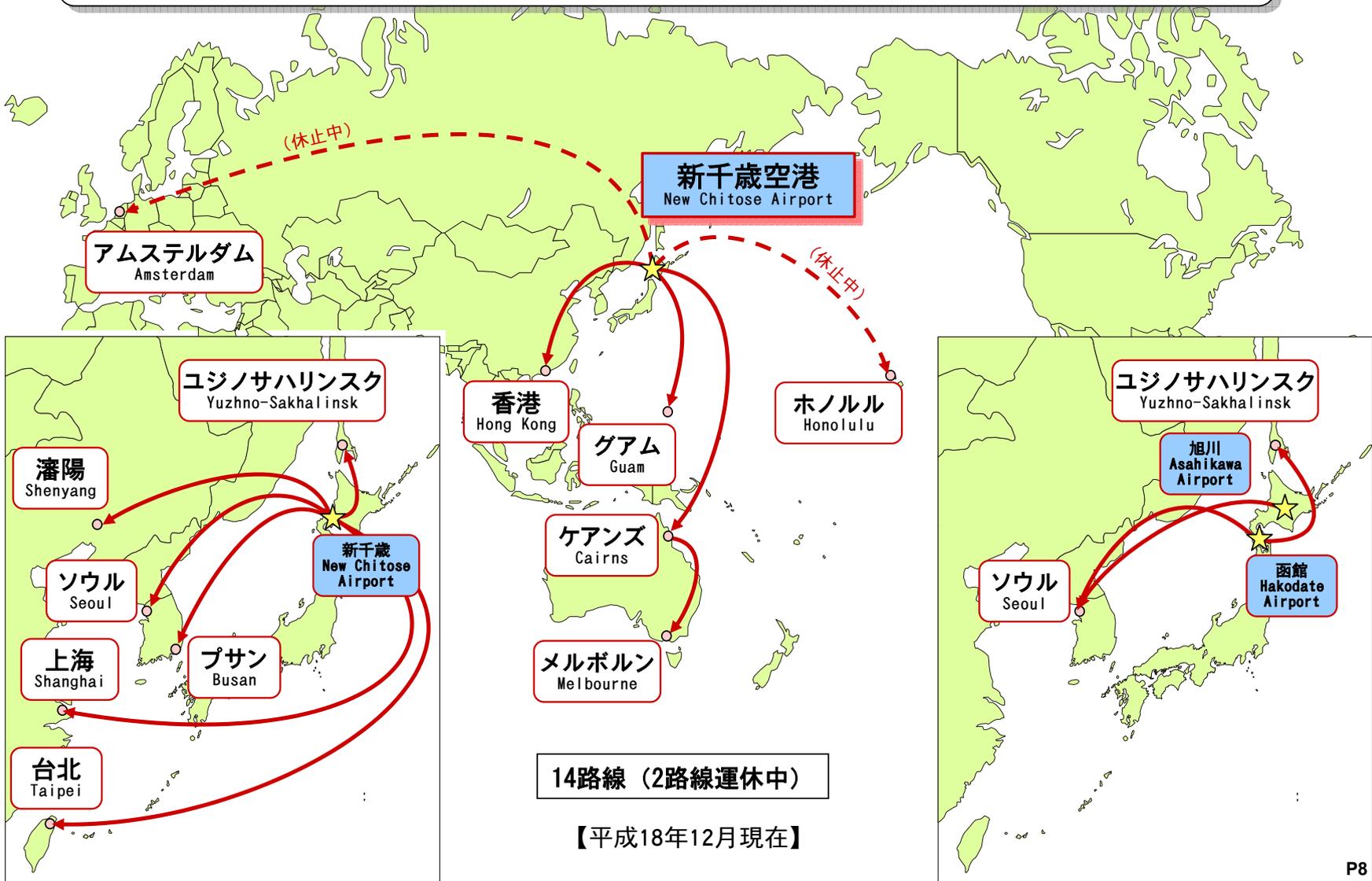
④訪日外国人来道者数の推移

アジアからの訪日外国人来道者が、急増している



北海道観光入込客数調査(北海道調べ)

⑤道内空港の国際定期路線の状況



⑤道内空港の国際定期路線の状況

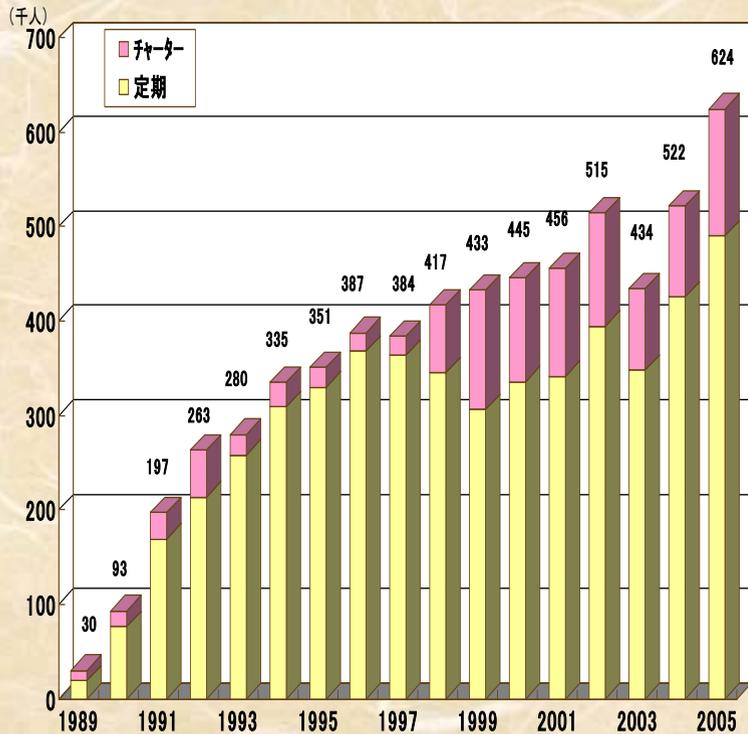
(2006年12月現在)

空港	路線	航空会社	就航年月日	運航曜日	機材	座席数
新千歳	ソウル線	大韓航空	1989. 6. 2	毎日	A330-300	296席
	釜山線	大韓航空	2006. 6. 1	週3便(火・木・土)	B737-900	187席
	グアム線	コンチネンタル航空	1990. 7. 2	週4便(月・木・金・土)	B737-800	155席
	香港線	キャセイパシフィック航空	1990.10.28	週4便(水・木・土・日)	A330-300	299席
	ホノルル線	ジャルウェイズ	1992. 2. 3	(2003.10～運休中)		
	ケアンズ・メルボルン線	カンタス航空	1992.10.27	週2便(火・土(冬季運航))	B767-300	229席
	アムステルダム線	KLMオランダ航空	1997.10.29	(2002.2～運休中)		
	瀋陽線	中国南方航空	1998. 6.28	週2便(水・日)	MD-90	153席
	ユジノサハリンスク線	サハリン航空	2001. 7.22	週1便(日)	AN-24	36席
	上海線	中国東方航空	2001. 8. 1	週3便(水・金・日)	A319	120席
	台北線	エバー航空	2003. 3.30	週7便(毎日)	A330-200	252席
チャイナ エアライン		2006. 7. 1	週6便(火・水・木・金・土・日)	B737-800	158席	
函館	ユジノサハリンスク線	サハリン航空	1994. 4. 4	週2便(月・金)	AN-24	36席
	ソウル線	大韓航空	2006. 6. 1	週3便(火・木・日)	B737-900	187席
旭川	ソウル線	アジアナ航空	2006. 6. 8	週3便(火・木・土)	A321-231	177席

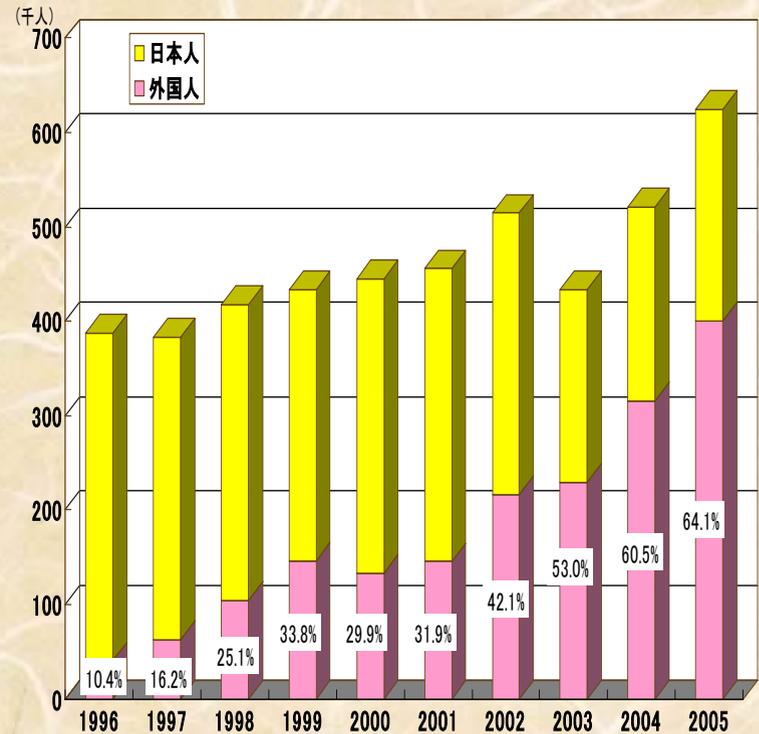
黄色:本年度開設路線

⑥新千歳空港 国際線実績

国際線利用者数の推移



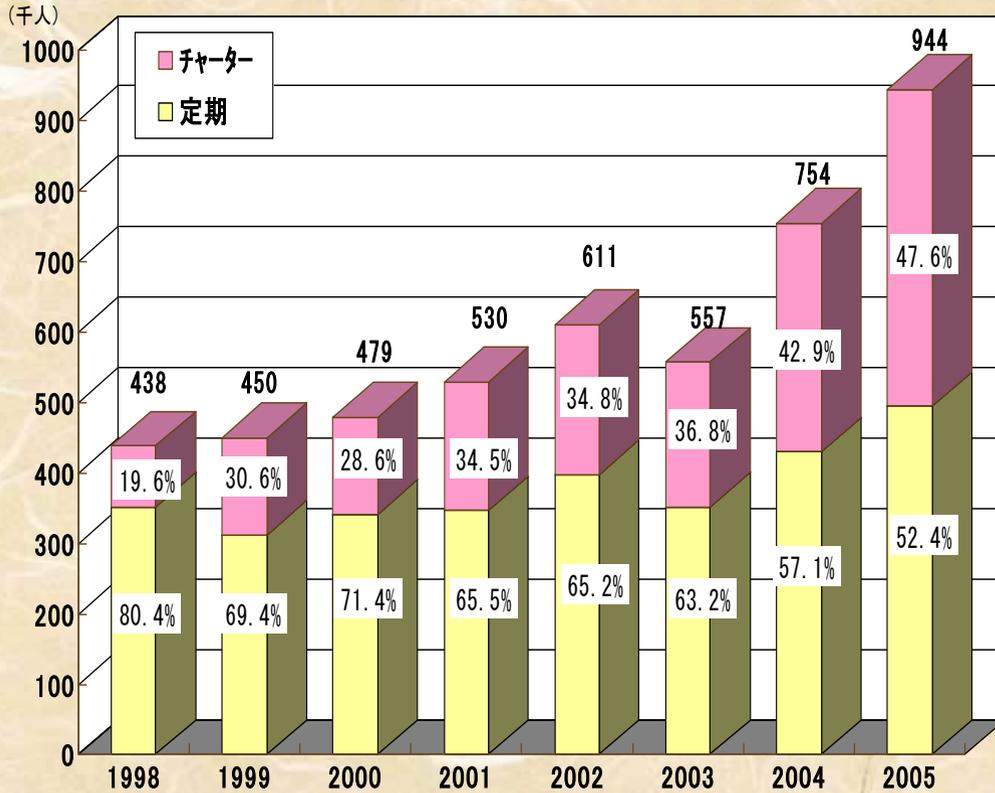
国際線利用者に占める外国人比率の推移



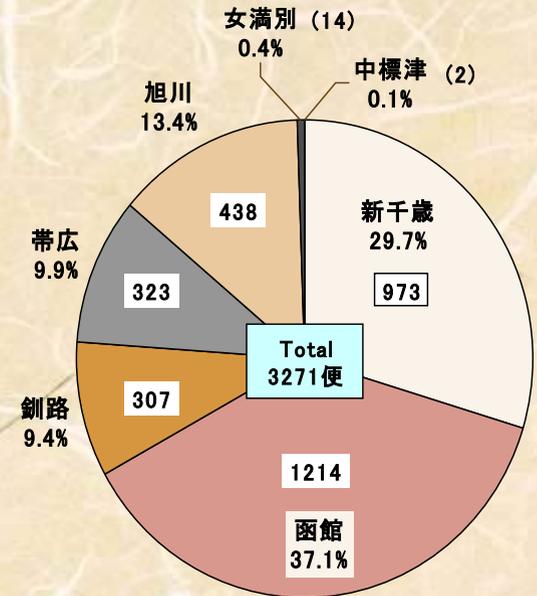
(北海道調べ)

⑦道内空港 国際線利用者数の推移

定期・チャーター別



道内空港別チャーター便実績
(便数/2005年)



(北海道調べ)

3. 空港の利用及び活用の促進に向けた取組みについて

(1) 新千歳空港国際化推進協議会等による国際線誘致活動

[新千歳空港国際化推進協議会]

■ 設立経緯

本道の国際交流の活発化を目的に、新千歳空港の国際化に向けた官民一体の活動を展開するため、昭和62年に設立（会長：北海道知事）

■ 目的

新千歳空港の国際化及び国際エアカーゴ基地の形成について調査検討を行うとともに、推進連絡活動を行い、本道の国際化や産業の振興に寄与する

■ 事業内容

- ・新千歳空港の国際化に関する要望活動
- ・国内外の航空会社に対する国際定期便誘致活動
- ・貨物需要開発促進事業
- ・旅客需要開発事業

■ 新千歳空港での国際航空定期便の運航に係る助成制度

◎ 運航経費に対する補助（限度額 1 億円）

◇ 旅客便の場合

- 最大座席数 400 席以上の航空機は
→ 1 着陸当たり 30 万円を助成

- 最大座席数 100 席以上 400 席未満の航空機は
→ 1 着陸当たり 15 万円を助成

◇ 貨物便の場合

- 1 着陸当たり 30 万円を助成

- ※ 補助対象となる経費は、グランドハンドリング料などです。
- ※ 補助を受けることができる期間は、運航開始の日から 3 年間です。
- ※ 最大座席数は、その航空機の「世界航空機年鑑」に掲載されている最大定員を指します。

■ 協議会による海外プレゼンテーション実績

2006	シンガポール、タイ
2005	オランダ、フランス
2004	オランダ、オーストラリア
2003	オランダ
2002	オランダ

■ シンガポール・タイ訪問団

日程：2006年11月7日～11月10日

訪問先：シンガポール航空、シンガポール運輸省
タイ国際航空、タイ政府運輸省ほか

(2) 北海道海外旅行促進事業実行委員会による取組み

[北海道海外旅行促進事業実行委員会]

■目的

道民の海外旅行需要を喚起するため、現在、定期航空路線が就航している地域及び就航が期待される地域で、今後の需要の伸びが見込まれる地域の観光地などを、広く一般に周知する事業を展開することにより、北海道民の渡航拡大を図ることを目的とする。

■構成メンバー

定期航空路線が就航している又は就航が期待される国・地域の政府観光局及び航空会社、各旅行会社、北海道空港(株)、JATA北海道支部等

■事業内容

○道民の海外旅行促進のための旅客需要開発事業

○海外旅行に関する情報の提供事業

《2006年実績例》・海外旅行フェアの実施 ・海外修学旅行セミナーの開催 ・海外旅行を促進するためのポスター等の作成



北海道海外修学旅行セミナー



(3)新千歳空港以外の主な地方空港の国際線路線誘致状況

○函館市 → 「函館＝ソウル線」(H18. 6. 1就航：大韓航空)

- ・函館市と函館経済界の合同要望
H18. 2月 韓国の航空会社本社に対し、早期開設実現の要請
(大韓航空等)
- H18. 11月 広州市及び台北市の航空会社本社に対し、チャーター便運航、定期便の要請活動を実施
(中国南方航空、チャイナエアライン、エバー航空、マンダリン航空、ユニ航空)

○旭川市 → 「旭川＝ソウル線」(H18. 6. 8就航：アジアナ航空)

- ・旭川空港利用拡大期成会(会長：旭川商工会議所会頭)・旭川観光誘致宣伝協議会(会長：旭川観光協会会長)
H18. 7月 台湾と香港の航空会社日本支社に対し、チャーター便の継続運航と将来的な定期航空路開設要望活動を実施
(チャイナエアライン、マンダリン航空、エバー航空、香港ドラゴン航空)
- H18. 11月 台湾と香港の航空会社本社に対し要請活動を実施
(チャイナエアライン、マンダリン航空、エバー航空、香港ドラゴン航空)

○釧路市

- ・釧路空港国際化推進協議会(会長：釧路市長)
H18. 10月 台湾、韓国の航空会社本社に対し、チャーター便運航、定期便の要請活動を実施
(エバー航空、チャイナエアライン、マンダリン航空、エバー航空、大韓航空、アジアナ航空)

○帯広市

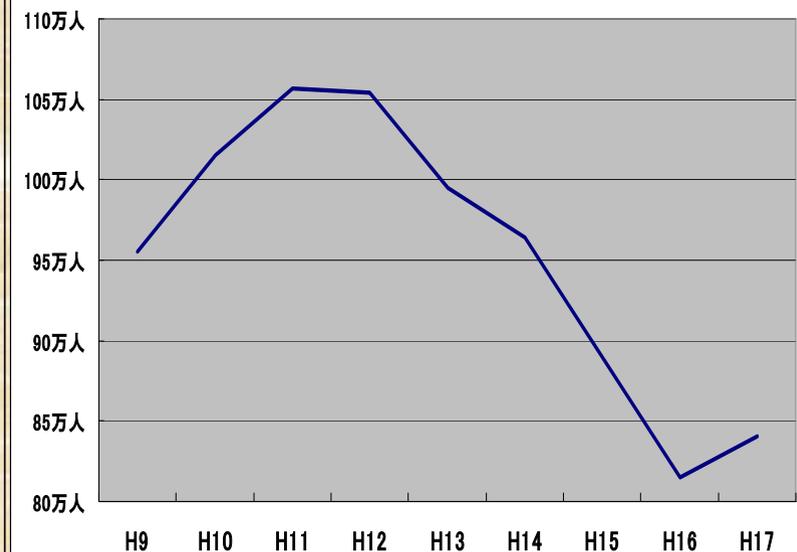
- ・とちかち帯広空港利用促進協議会(会長：帯広市長)
H18. 6月、11月 台湾、中国の航空会社日本支社に対し、チャーター便運航の要請活動を実施
(エバー航空、チャイナエアライン、中国国際航空、中国東方航空、中国南方航空)
- ・とちかち国際観光推進協議会(会長：帯広商工会議所会頭)
H18. 9月 台湾においてプロモーション活動を実施

○網走市

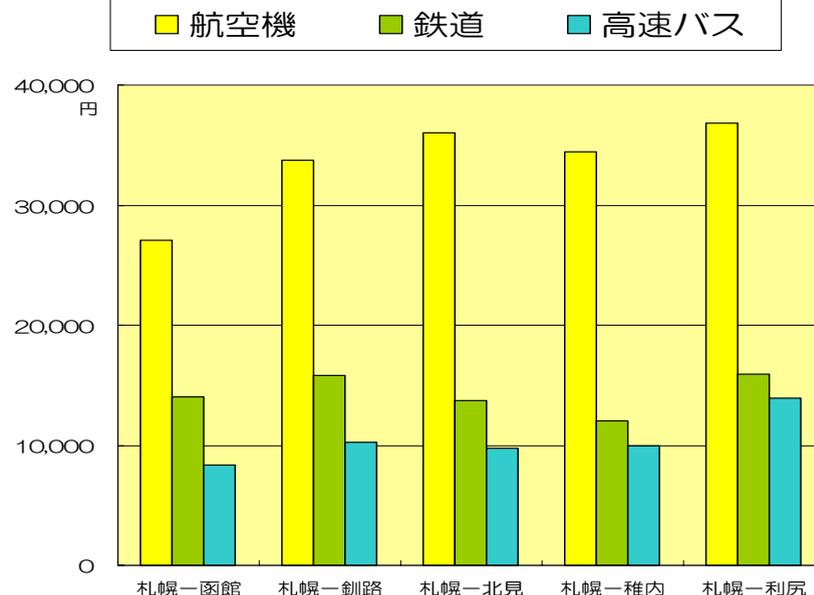
- ・女満別空港国際チャーター便誘致協議会(会長：網走市長)
H18. 5月 中国の航空会社本社に対し、チャーター便運航の要請活動を実施
(9月23日 中国南方航空チャーター便就航)
- H18. 12月 台湾、香港の航空会社本社、大手旅行代理店に対し、チャーター便運航の要請活動を実施
(チャイナエアライン、マンダリン航空等)

(4) 北海道地域航空推進協議会における利用促進の取組み

道内航空路線の利用者数の推移



○運賃（札幌～地方都市）



協議会

エアライン
(7社)

経済団体
(21団体)

銀行
(2社)

市町村
(22団体)

旅行代理店
(3社)

北海道

空港ビル会社
(9社)

・H18予算 約800万円
・事務局 北海道新幹線・交通企画局

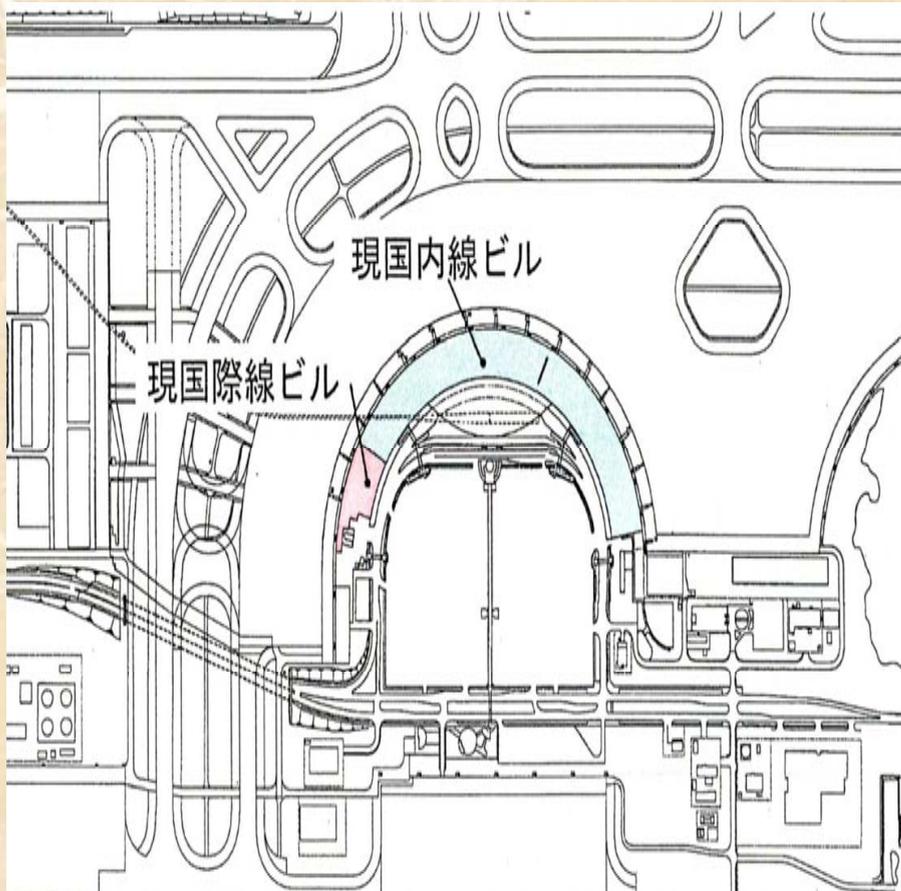
利用促進事業

- 地元と連携した事業展開
- 利用率が低い道内路線の維持、確保
 - ・旅行商品の造成
 - ・PR広告等
(新聞、雑誌、ホームページ)
 - ・セミナー、イベント等支援、協力

4. 航空及び空港に関する要望

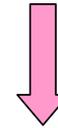
(1) 課題

①新千歳空港国際線旅客ターミナルビルの混雑状況



現国際線ターミナルの施設規模

- ・年間旅客数：19万人対応
- ・処理能力：200人対応（ピーク時）
- ・延べ床面積：11,256㎡
- ・設備：バゲッジクレム1台



現状での問題点

年間旅客数：60万人（H16実績）

ピーク時旅客数：500～600人（3機同時到着時）

- ・到着ロビー：荷物処理が間に合わないため、機内で40分程度の入国待ち
- ・出発ロビー：手荷物のセキュリティチェックに60分程度の審査待ち

ターミナル施設の狭隘化が顕著

②国際線旅客の出入国時の状況



入国手続きのためボーディングブリッジで待機



出国セキュリティゲート(1カ所)

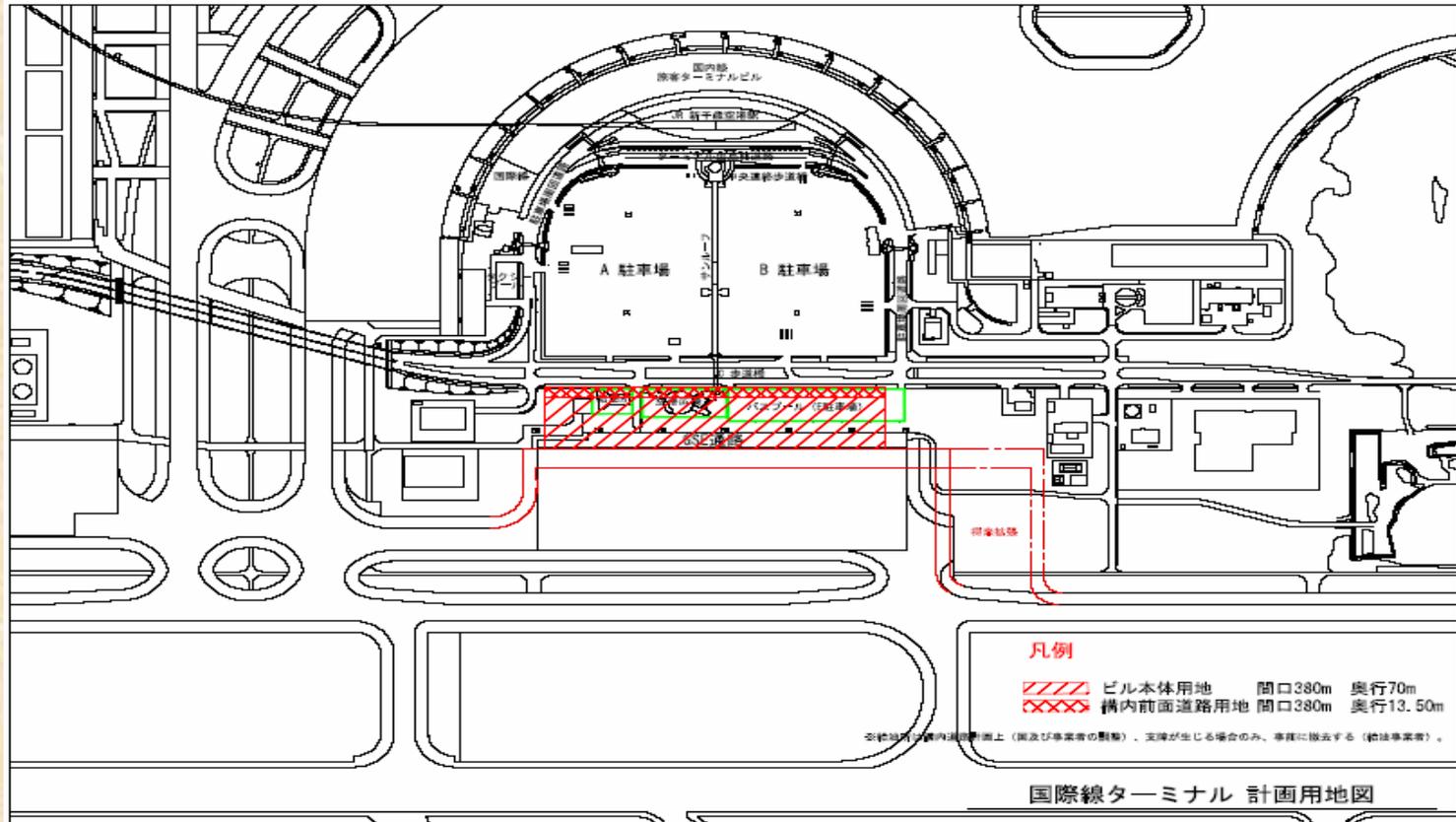


出国セキュリティゲート待ちの列



国際線待合室の様子

③新千歳空港国際線旅客ターミナルビルの整備について



※2009年度供用開始を目指して整備中

④空港施設の老朽化について

- 道内各空港において、これまで滑走路延長等の整備が進められてきたが、今後、滑走路、誘導路等の空港施設の老朽化に伴い、空港機能を保持するため、空港施設の更新の増加が見込まれる。
- 特に本道においては、2種A、2種B、3種及び共用飛行場を合わせて13の空港を有し、また積雪寒冷地で厳しい気象条件の下、空港施設の更新に対応するための費用が多大となる。

【参考1～道内空港の滑走路建設時期】

	空港名		滑走路建設時期(※1)
2種A	新千歳	A滑走路	H 14 ~ 16
		B滑走路	H 4 ~ 7
	稚内		H 5 ~ 7
	釧路		H 14 ~ 16
2種B	函館		H 11 ~ 13
	旭川		H 5 ~ 9
3種	帯広		H 12 ~ 13
	女満別		H 8 ~ 11
	中標津		H 6 ~ 8(※2)
	紋別		H 8 ~ 11
	利尻		H 6 ~ 10
	礼文		H 7
その他	奥尻		H 13 ~ 17
	丘珠		H 14 ~ 15

【参考2～空港建設の更新事業の例】

■中標津空港

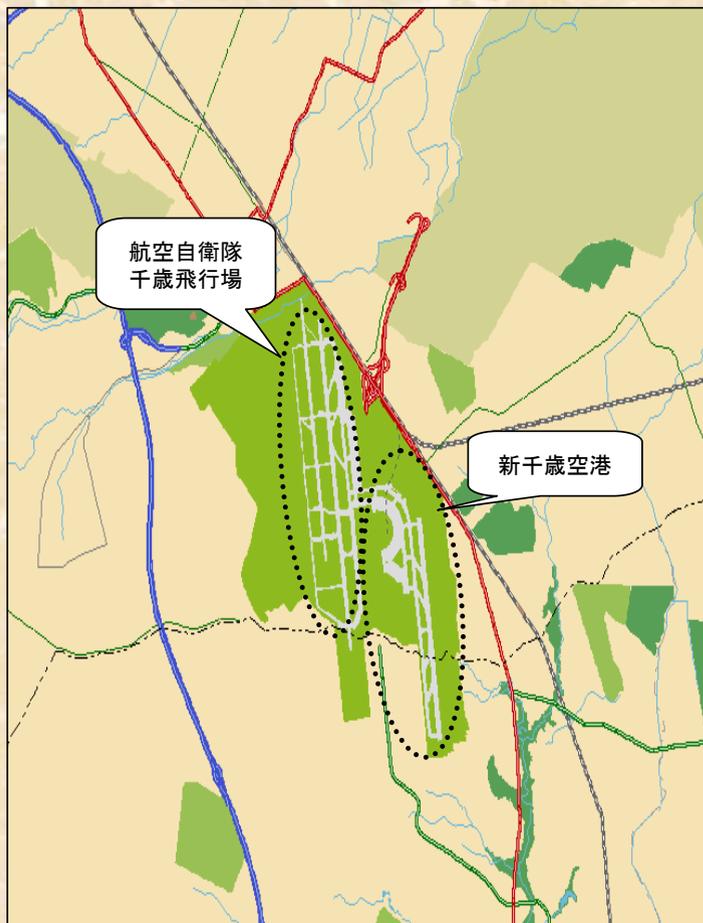
ア 事業内容 滑走路等施設の劣化に対応するため、
アスファルト舗装を全面打ち換え

イ 事業主体 北海道

ウ 事業期間 H17～20

エ 事業費 約16億円

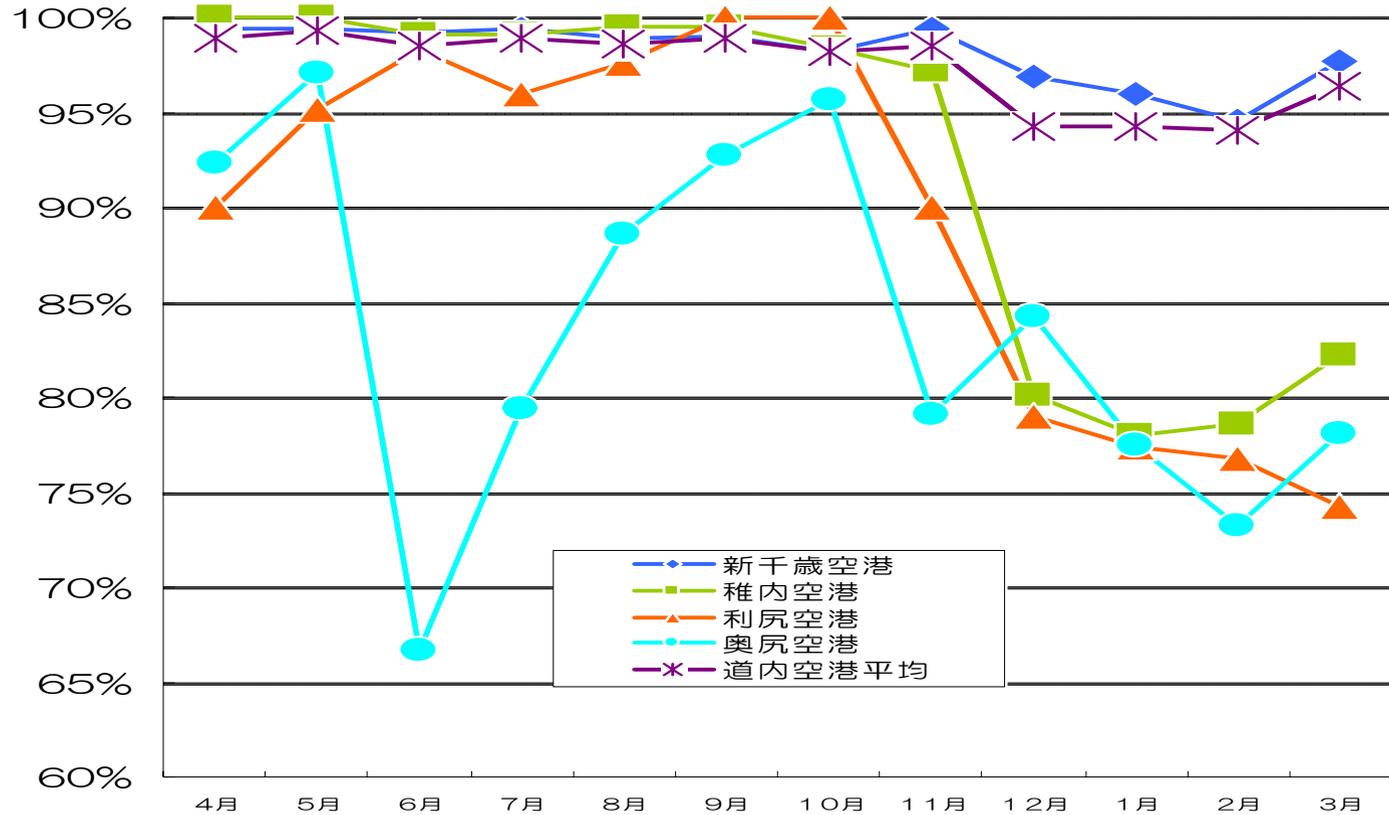
⑤一部外国エアラインの新千歳空港定期便乗り入れ状況 (2006年12月現在)



	日	月	火	水	木	金	土
午前	〈サハリン航空〉 札幌=ユウ/サハリン線 10:00着 11:00発						
昼間	〈中国南方航空〉 札幌=瀋陽線 12:05着 13:05発 〈中国東方航空〉 札幌=上海線 12:20着 13:20発			〈中国南方航空〉 札幌=瀋陽線 12:05着 13:05発 〈中国東方航空〉 札幌=上海線 12:20着 13:20発			
午後							
17時以降						〈中国東方航空〉 18:25着 19:20発 札幌=上海線 (H17.4 制限緩和)	

⑥道内空港の冬季就航率

道内空港（新千歳・稚内・利尻・奥尻）
の就航率（平成17年度月別）



⑦(株)北海道エアシステム(HAC)運航乗務員の確保について

○ 平成10年3月に就航し、現在、道内6都市7路線を運航

○ 株主構成 J A L 51% 北海道 49%

[平成18年12月1日現在]

1 保有機材	S A A B340B型機 (36人乗り) 3機
2 日最大運航可能便数	13往復 (26便)
3 必要最大運航乗務員数	機長 11~12名、副操縦士 11~12名
4 現有人員	15名 うち機長10名 (うちJ A Lからの出向者6名、加齢者2名)

○ 運航乗務員不足のため、計画便数の規模縮小で対応中 (12月は9往復18便)

○ 他社への流出も危惧されており、運航乗務員の確保が最重要課題の一つ

(2) 要望

①就航率向上に向けた高質化

- ・新千歳空港滑走路延長（3,000m→3,500mに延長）
→中・長距離国際路線の安定就航のために必要
- ・稚内空港、女満別空港、丘珠空港の整備

②空港施設の老朽化への対応

空港施設の老朽化に伴い、空港機能を保持するため、
空港施設の更新の増加に対応した財源確保が必要

③新千歳空港国際線旅客ターミナルビルの整備

国際線旅客の増大に伴い、対応施設の整備が必要
→2009年度供用の計画どおりの実施をお願いしたい

④一部外国エアラインの新千歳空港乗り入れ拡大

一部外国（中国・ロシア）の航空機について、
乗り入れ曜日の制限緩和をお願いしたい